

魅惑の国 ヨルダン

講師：早瀬雅博

1月16日(土)に大津公民館において、国際理解出前講座「魅惑の国・ヨルダン」を実施しました。講師は、JICA(独立行政法人国際協力機構)のシニアボランティアとして2002年から2004年の2年6ヶ月の間、ヨルダンに派遣された早瀬雅博さんです。

ヨルダンは、シリア、イスラエル、イラク、サウジアラビアと国境を接する中東の比較的安定したイスラム社会の国です。最近、ニュースなどで耳にすることが多い中東の国ですが、実際の様子はなかなか知ることができず、参加者の方に講座の前にお聞きしても、一体どんな国なのかまったくイメージがわからないようでした。



中東にありながら、意外にも石油が一滴も出ないこと、そのために石油の利権争いに巻き込まれず政治的に安定していること、王室があり日本の天皇一家と関係が深いことなど、現地に滞在した方ならではのお話に、皆さん驚いておられました。また、水資源が非常に少なく、決まった時間にしか水が供給されないという、水資源の豊かな日本では考えられないようなこともあるそうです。

また、講師の早瀬さんが現地で担当された安全・衛生指導の具体例はとてもわかりやすく、うなずいておられる方もいらっしゃいました。

講座後、参加者の方からは「中東とかイスラム教とか聞くと、怖いというイメージがあったけど、そうじゃないことがよくわかった」という感想が聞かれました。



イスラム教徒にとって
大事なお祈りの時間を
教えてくれる時計。時間
になると「アザーン」と
いうお祈りの声が…!